



認定書

国住指第 1857 号
平成 19 年 9 月 3 日

株式会社安成工務店
代表取締役 安成 信次 様
株式会社デコス
代表取締役 安成 信次 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項(同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第 30 条及び同法施行令第 22 条の 3(界壁の遮音構造)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

SOI-0094

2. 認定をした構造方法等の名称

セルローズファイバー充てん／片面せっこうボード(12.5mm)・普通硬質せっこうボード(9.5mm)・シート張／
片面せっこうボード(15mm+12.5mm)・普通硬質せっこうボード(9.5mm)張／木製軸組下地(千鳥間柱)間仕
切壁

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

セルローズファイバー充てん／片面せっこうボード(12.5mm)・普通硬質せっこうボード(9.5mm)・シート張／片面せっこうボード(15mm+12.5mm)・普通硬質せっこうボード(9.5mm)張／木製軸組下地(千鳥間柱)間仕切壁

2. 寸法及び面密度等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
壁厚さ(空気層厚さ)	209~284(150~225)
面密度(一般断面)	50.55~72.75 kg/m ²
床の納まり	壁先行
天井の納まり	天井なし又は二重天井

(別添-1)

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造									
上張り面材	<p>せっこうボード 平成12年建設省告示第1400号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6901 (GB-R 又は GB-F) ・面密度 7.5~11.3 kg/m² ・厚さ 12.5±0.5 ・寸法 <table border="1" data-bbox="580 499 1249 607"> <thead> <tr> <th></th> <th>幅</th> <th>長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最 小</td> <td>910</td> <td>1820</td> </tr> <tr> <td>最 大</td> <td>1210</td> <td>2420</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・端部形状 スクエア、ベベル、テーパ ・水平目地 あり又はなし ・縦張り 		幅	長さ	最 小	910	1820	最 大	1210	2420
	幅	長さ								
最 小	910	1820								
最 大	1210	2420								
下張り面材	<p>普通硬質せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6901 (GB-R-H) ・面密度 9.5~13.8 kg/m² ・厚さ 9.5±0.5 ・寸法 <table border="1" data-bbox="580 965 1249 1072"> <thead> <tr> <th></th> <th>幅</th> <th>長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最 小</td> <td>910</td> <td>1820</td> </tr> <tr> <td>最 大</td> <td>910</td> <td>2420</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・端部形状 スクエア、ベベル ・水平目地 あり又はなし ・縦張り 		幅	長さ	最 小	910	1820	最 大	910	2420
	幅	長さ								
最 小	910	1820								
最 大	910	2420								
増張り面材	<p>せっこうボード 平成12年建設省告示第1400号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6901 (GB-R 又は GB-F) ・面密度 9.0~13.5 kg/m² ・厚さ 15±0.5 ・寸法 <table border="1" data-bbox="580 1426 1249 1534"> <thead> <tr> <th></th> <th>幅</th> <th>長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最 小</td> <td>910</td> <td>1820</td> </tr> <tr> <td>最 大</td> <td>1210</td> <td>2420</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・端部形状 スクエア、ベベル、テーパ ・水平目地 あり又はなし ・縦張り 		幅	長さ	最 小	910	1820	最 大	1210	2420
	幅	長さ								
最 小	910	1820								
最 大	1210	2420								
内張りシート	<p>透湿シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポリエステル長繊維不織布 ・質量 50.0±4.0g/m² ・厚さ 0.2±0.04 ・引張強力 縦 ≥100N/30mm 横 ≥35N/30mm 									

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
吸音材	ホウ素系薬剤処理セルローズファイバー 規格 JIS A 9523 ・厚さ 150～225 ・組成(質量%) { 新聞古紙 80.0 難燃剤 硼酸 7.0 撥水剤 五水塩硼砂 10.0 スチリン酸アルミニウム 3.0 ・密度 $55 \pm 5 \text{ kg/m}^3$ ・組成(質量%)
柱	日本農林規格に規定する製材又は集成材 ・寸法 90×90～105×105 ・間隔 910～1000 又は 1820～2000
間柱	日本農林規格に規定する製材又は集成材 ・寸法 38×60～38×89 ・間隔 227.5～250 (千鳥配置)
横架材	日本農林規格に規定する製材又は集成材 ・寸法 90×90 以上
土台	日本農林規格に規定する製材又は集成材 ・寸法 90×90～105×105

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

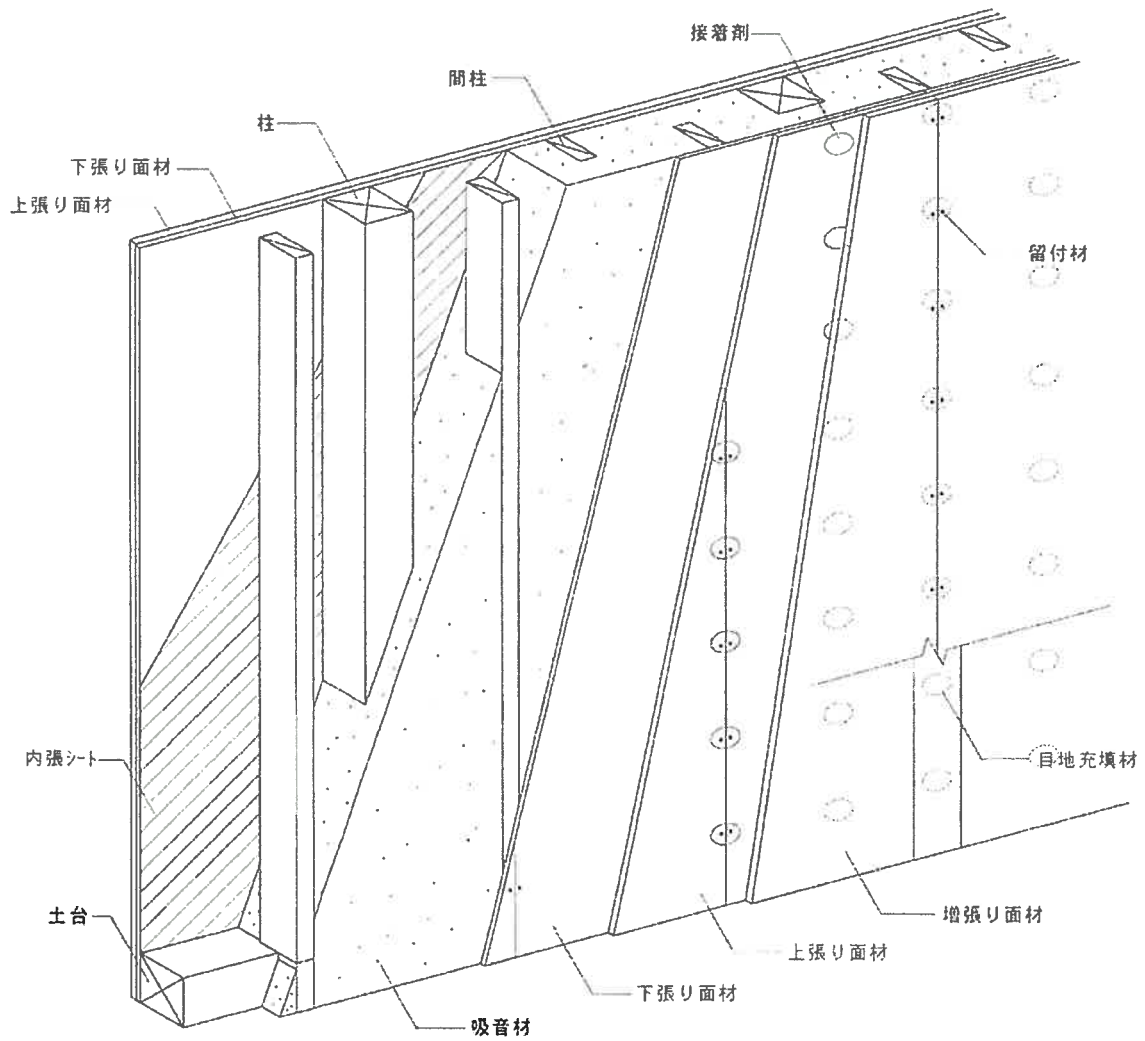
項 目	申 請 構 造
上張り面材の 固定用留め具	タッピンねじ ・規格 JIS B 1122 又は JIS B 1125 (防錆処理又はステンレス) ・寸法 $\phi 4 \times$ 長さ 38 以上 ・間隔 周辺部 200～250 中間部 200～250
下張り面材の 固定用留め具	タッピンねじ ・規格 JIS B 1122 又は JIS B 1125 (防錆処理又はステンレス) ・寸法 $\phi 4 \times$ 長さ 35 以上 ・間隔 周辺部 150～200 中間部 200～250

(寸法単位：mm)

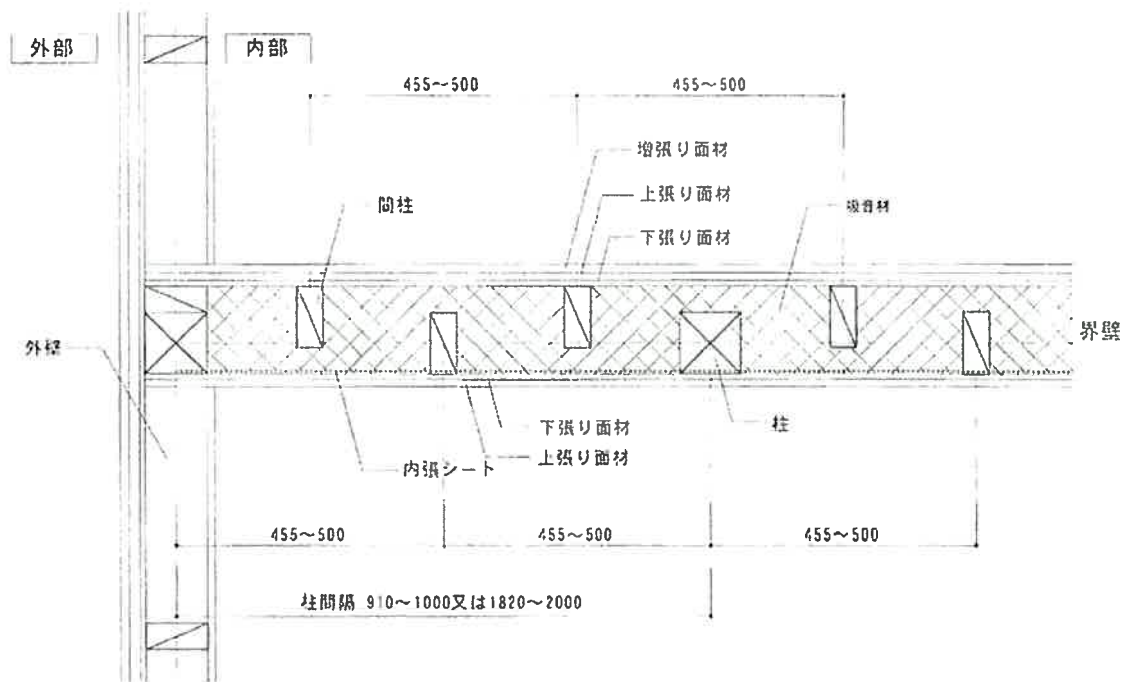
項 目	申 請 構 造
増張り面材の 固定用留め具	接着剤(1) + ステープル(2) (1) 接着剤 ・材 質 1)～2)のうち、いずれか一仕様とする 1) 酢酸ビニル系 2) 無機質系 3) 合成ゴム系 4) エポキシ系 ・使用量 200g/m ² 以下 (250 間隔の格子状に点状塗布) (2) ステープル ・幅 4 以上 ・長さ 22 以上 ・間隔 250～300
内張りシート の固定用留め具	ステープル ・幅 10 以上 ・長さ 10 以上 ・間隔 50 以下
コーキング材	室内に露出するせっこうポート端部に生じる隙間への充てん材 (別添-8 参照) ・弾性シーリング材 (シリコン系、ポリサルファイド系、アクリル系)
目地充てん材	次の(1)又は(2)のいずれか一仕様とする (1) せっこう系パテ (2) せっこう系パテ+ジョイントテープ (ガラス繊維製、紙製) 処理

4. 構造説明図

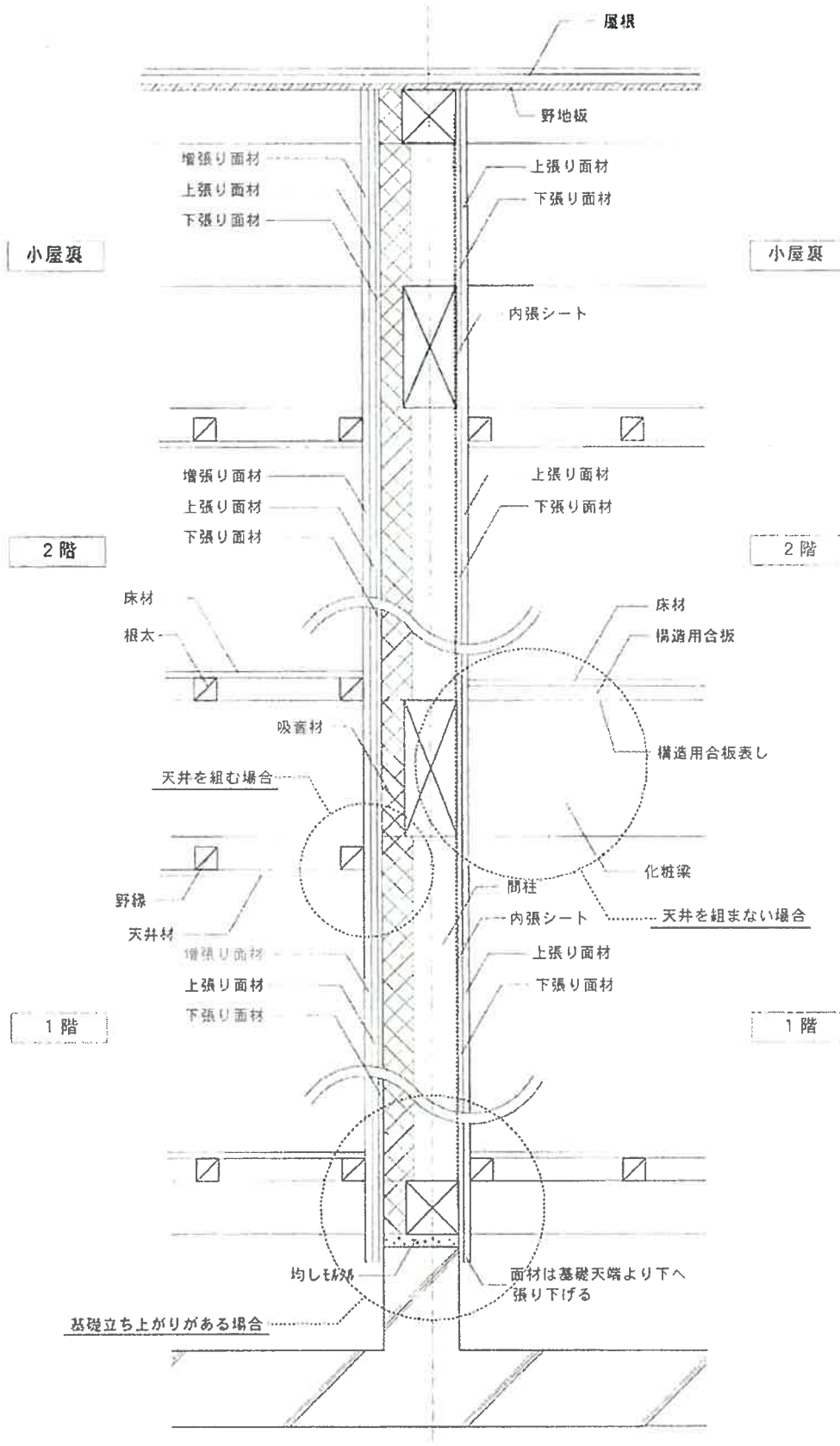
①透視図



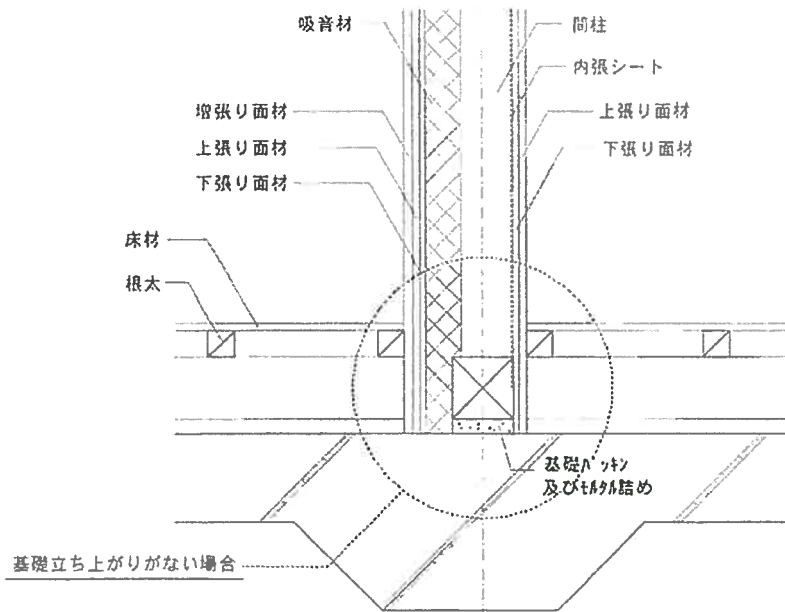
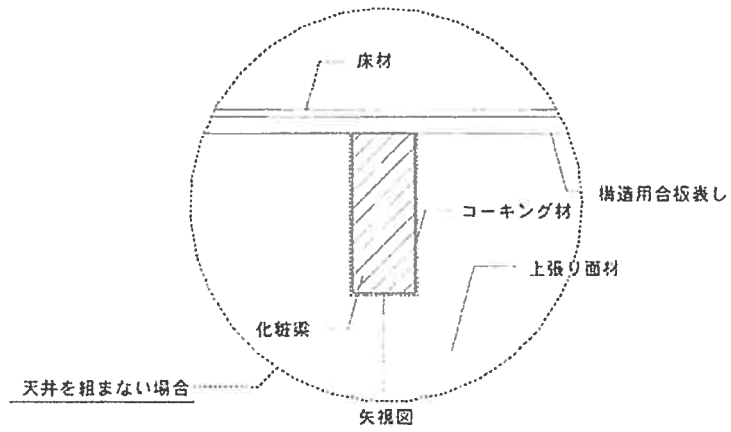
②水平断面図



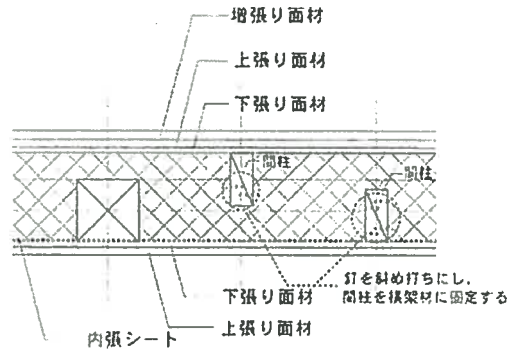
③垂直断面図



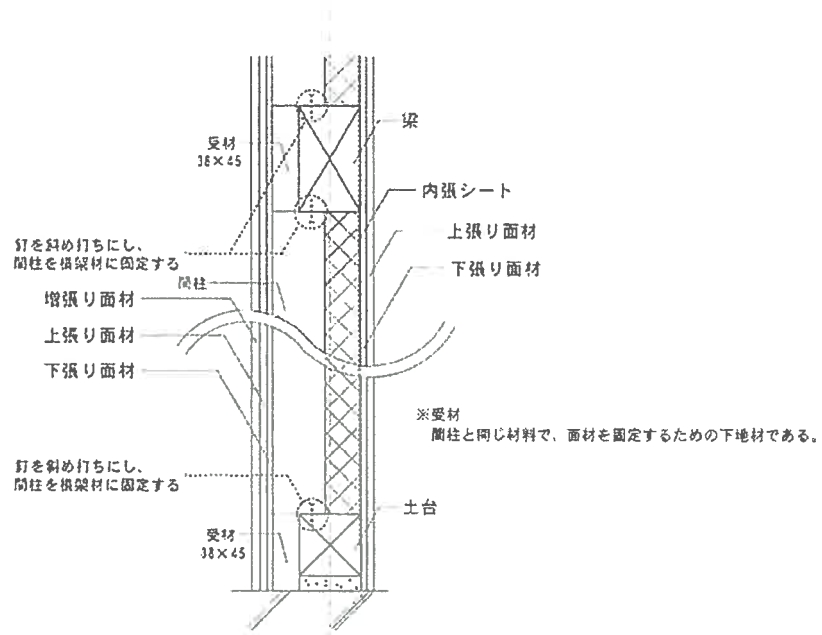
④部分詳細図



⑤間柱取付図



水平断面図



垂直断面図

5. 施工方法等

<施工手順>

施工は以下の手順で行う。

- (1) 躯体構造の施工
 - ・柱、間柱を申請範囲内の間隔で横架材間に取り付ける。
- (2) 片面の下張り面材張付
 - ・片面の下張り面材を固定用留め具にて柱及び間柱に取り付ける。
- (3) 内張りシートの張付
 - ・内張りシートは横張り又は縦張りとし、上下・左右の重ね代を 100mm 以上とする。
 - ・柱及び間柱への留め付けは、50mm 以下の間隔で幅 10mm 以上、足長 10mm 以上の工業用ステーブルで張り付ける。
 - ・張り付けはできるだけ、たるみやしわのないようにする。
- (4) セルローズファイバーの充てん
 - ・あらかじめ設計図面から算出した壁体の空気層容積に密度の 55kg を掛けてセルローズファイバーの必要重量を求め、1袋 15kg に梱包された材料の必要梱包数を用意する。
 - ・セルローズファイバーの挿入口として、1つの柱・間柱間ごとにまず内張りシートに下部用を開け、半分ほど吹き込んだら、上部用の挿入口を開ける。
 - ・下部用挿入口は床から約 100～120mm の位置にカッターナイフで内張りシートに開ける。
 - ・挿入口にノズルホースを床（上台・胴差）まで、垂直（柱間中央）に挿入する。
 - ・専用の施工機で、間柱間に隙間無く吹き込む。
 - ・約半分の高さまで吹き込んだら、上部用の挿入口を床から約 1500～1700mm の位置に開け、さらに柱・間柱間上部に隙間なく吹き込み、1つの柱・間柱間の充てんを終える。
 - ・密度の管理は、1つの柱・間柱間に吹き込む量を割り出し、その都度 1袋 15kg の梱包袋の減り具合を確認することで行う。
（例：空気層厚さ 150mm、間柱間隔 455mm、高さ 2700mm で約 10kg）
 - ・充てん後、幅 170mm のシート（内張りシートと同材）を柱・間柱に留めて挿入口を塞ぐ。
- (5) 他面の下張り面材の張付
 - ・セルローズファイバーが充てんされた内張りシートの上の下張り面材を固定用留め具にて柱及び間柱に取り付ける。
- (6) 上張り面材の張付
 - ・上張り面材は、下張り面材と継ぎ目が重ならないように固定用留め具にて柱及び間柱に取り付ける。
- (7) 増張り面材の張付
 - ・片面のみ増張り面材を上張り面材と継ぎ目が重ならないように増張り面材固定用留め具にて上張り面材に取り付ける。
- (8) 日地処理
 - ・目地部及び固定用留め具頭部にはパテを施し、平滑に仕上げる。